

1. ゲートボールイベント開催・実施時の感染防止策について

(1) 全般的な事項

- 感染防止のため主催者が実施すべき事項や参加者が遵守すべき事項をあらかじめ整理し、チェックリスト化したものを適切な場所（イベントの受付場所等）に掲示すること
- 各事項がきちんと遵守されているか会場内を定期的に巡回・確認すること
- 障がい者など利用者の特性にも配慮すること
- 万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、参加当日に参加者より提出を求めた書面について、保存期間（少なくとも1カ月以上）を定めて保存しておくこと
- イベント後に参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や、地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合の対応方針について、施設の立地する自治体の衛生部局とあらかじめ検討しておくこと

(2) 参加募集時に参加者に求める対応

- 参加者が以下の事項に該当する場合は、参加を見合わせる
 - 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- マスクを持参すること
- 手を拭くためのタオルを持参すること
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること
- 他の参加者、主催者スタッフ等との距離（できるだけ2m以上）を確保すること（障がいの誘導や介助を行う場合を除く）
- 大きな声で会話、応援等をしないこと
- 感染防止のために主催者が決めた措置の遵守、主催者の指示に従うこと
- イベント終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること

(3) 当日の参加受付時の対応

- 受付窓口には、手指消毒液を設置すること
- 発熱や、軽度であっても咳・咽頭痛等の症状がある人は参加しないよう呼び掛けること
- 人と人が対面する場所は、アクリル板、透明ビニールカーテン等で遮蔽すること
- 参加者が距離をおいて並べるように目印の設置等を行うこと
- 受付を行うスタッフには、マスク（フェイスシールド）を着用させること
- 受付場所での書面の記入や現金の授受等を避けるようにすること
- 受付での混雑を極力避けること

- 参加者から以下の事項を記載した書面の提出を求めること
 - 氏名、年齢、住所、連絡先（電話番号）※ 個人情報の取扱いに十分注意する
 - イベント当日の体温
 - イベント前2週間における以下の事項の有無
 - ・ 平熱を超える発熱（おおむね37度5分以上）
 - ・ 咳、喉の痛みなど風邪の症状
 - ・ だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）
 - ・ 嗅覚や味覚の異常
 - ・ 身体が重く感じる、疲れやすい等
 - ・ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
 - ・ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ・ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

(4) 当日の参加者への対応 _____

- マスク等の準備
 - 参加者がマスクを準備しているか確認すること
 - 受付時等のプレーを行っていない間、とくに会話をするときにはマスクの着用を求めること
- イベント参加前後の注意点
 - イベント前後のミーティングや懇親会においても、3つの密を避けること
 - 会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分に配慮すること

(5) 主催者が準備すべき事項 _____

- 手洗い場所
 - 手洗い場所には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意すること
 - 「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること
 - 手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒液を用意すること
- 休憩・待機スペース
 - 広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避けること（障がい者の介助を行う場合を除く）
 - ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者の数を制限する等の措置を講じること
 - 室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、テーブル、椅子等）については、こまめに消毒すること
 - 換気扇を常に回す、換気用の小窓を開ける等、換気に配慮すること

□ 洗面所

- トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、こまめに消毒すること
- トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示すること
- 手洗い場には石鹼（ポンプ式が望ましい）を用意すること
- 「手洗いは 30 秒以上」等の掲示をすること
- 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を用意すること
- 共用の布タオルや手指を乾燥させる設備については使用しないようにすること

□ 更衣室

- 一度に入室する参加者の数を制限すること
- 複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、テーブル、椅子等）については、こまめに消毒すること
- 換気扇を常に回す、換気用の小窓を開ける等、換気に配慮すること

□ 飲食物の提供時

- 参加者が飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うよう声を掛けること
- 飲料については、ペットボトル・ビン・缶や使い捨ての紙コップで提供すること
- 果物等の食品については、取り分けを避けること
- 飲食物を取り扱うスタッフにはマスクを着用させること

□ プレーヤー以外の応援者などの管理

- 応援者や付き添いなどがいる場合には、その者同士が密な状態とならないような対応をとること
- 大声での応援を送らないことや会話を控えること
- 会話をする場合には、マスクを着用すること等の留意事項を周知すること

□ イベント会場

- イベントを室内で実施する場合には、換気の悪い密閉区間とならないよう、十分な換気を行うこと
- 換気設備を適切に運転すること
- 定期的に窓を開け外気を取り入れる等の換気を行うこと
- 開閉会式は排除、または簡素化を図ること
- コート間はなるべく広く設置すること（4 m以上が理想）
- 審判員数は、3つの密を避けるよう削減すること
- ゲート・ゴールポール、ボール等は、各試合終了後にアルコール消毒を行うこと

□ ゴミの廃棄

- 鼻水、唾液などが付いたゴミは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用すること
- マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹼と流水で手を洗い、手指消毒すること

- その他、このガイドラインに従うだけでなく、実情に応じた感染防止対策に最大限の配慮をし、必要と考えられる万全の措置を講じる

2. ゲートボールイベント参加時の感染防止策について

(1) 参加者が遵守すべき事項

- 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせることに
(当日に書面で確認を行う)
 - 体調がよくない場合(例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- マスクを持参すること(受付時等のプレーを行っていない間、とくに会話をするときには、マスクを着用すること)
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること
- 他の参加者、主催者スタッフ等との距離(できるだけ2m以上)を確保すること
(障がい者の誘導や介助を行う場合を除く)
- イベント中に大きな声で会話、応援等をしないこと
- 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと
- イベント終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること
- イベント前後のミーティングや懇親会等においても、3つの密を避けること
- 自宅とイベント会場の移動時における車の相乗りは、密になるので避けること
- 熱中症対策のために、マスク着用時も、こまめな水分補給等を心掛けること

(2) 参加者がプレーを行う際の留意点

- 十分な距離の確保とマスク等の準備
 - プレーをしていない間も含め、感染予防の観点から、周囲の人となるべく距離(できるだけ2m以上)を確保すること(障がい者の誘導や介助を行う場合を除く)
 - 受付等のプレーを行っていない間、とくに会話をする時には、マスクを着用すること
 - プレー中のマスクの着用は、参加者等の判断によるものとするが、マスクをしない場合には、十分な距離を空けるよう、特に留意をする必要がある
 - 握手等の身体を接触させる挨拶は行わない
- プレー中に、唾や痰をはかないこと
- タオルの共用はしないこと
- 飲食をする際の留意点
 - 飲食については、指定場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、会話は控えめにすること
 - 果物等の食品については、取り分けを避け、回し飲みもしないこと
 - 飲みきれなかったスポーツドリンク等を指定場所以外に捨てないこと
- その他、このガイドラインに従うだけでなく、実情に応じた感染防止対策に最大限の配慮をし、必要と考えられる万全の措置を講じる

3. ゲートボールイベント参加申込にあたっての留意事項

(1) イベント参加者健康状態申告書 _____

年 月 日

参加者 各位

連絡先および健康状態申告のお願い

(主催団体名) * * * * *

(責任者) * * * * *

新型コロナウイルスの感染予防のため、今イベント参加にあたって以下の情報提供をお願いいたします。ご記入の上、イベント当日持参し、受付にご提出下さい。尚、提出された個人情報の取扱いには十分配慮いたします。

氏名 :			
※ エントリー時に連絡先が登録されていれば、以下の年齢、住所、連絡先は記入不要			
年齢 :			
住所 : 〒 —			
連絡先 (電話番号) : — —			
イベント当日の体温 : () °C			
イベント前2週間における以下の事項の有無			
	平熱を超える発熱 (おおむね 37 度 5 分以上)	<input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし
	咳、のどの痛み等風邪の症状	<input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし
	怠さ (倦怠感)、息苦しさ (呼吸困難)	<input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし
	嗅覚や味覚の異常	<input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし
	身体が重く感じる、疲れやすい等	<input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし
	新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無	<input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし
	同居家族や身近な知人に感染が疑われる方が発生	<input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし
	過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触	<input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし

感染防止策チェックリスト(主催者用)

全般的な事項

- 感染防止のため主催者が実施すべき事項や参加者が遵守事項をチェックリスト化し掲示する
- 各事項がきちんと遵守されているか会場内を定期的に巡回・確認する
- 障がい者など利用者の特性にも配慮する
- 感染症が発生した場合に備え、参加当日に提出を求めた書面は保存期間(1カ月以上)を定めて保存する
- イベント後に参加者から新型コロナウイルス感染症発症の報告があったり、地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告されたりした場合の対応方針について、施設の立地する自治体の衛生部局とあらかじめ検討しておく

イベント等の参加募集時の対応

主催者が参加者に求める感染拡大防止のための措置としては、以下のものが挙げられます。

- 参加者が以下の事項に該当する場合は、参加を見合わせる
 - 体調がよくない場合(例:発熱、咳、咽頭痛などの症状がある場合)
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- マスクを持参すること(受付時等のプレーを行っていない間、とくに会話をするときにはマスクを着用する)
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施する
- 他の参加者、主催者スタッフ等との距離(できるだけ2m以上)を確保する(障がい者の誘導や介助を行う場合を除く)
- 大きな声で会話、応援等をしない
- 感染防止のために主催者が決めた措置の遵守、主催者の指示に従う
- イベント終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に速やかに報告する

当日の参加受付時の対応

- 受付窓口には、手指消毒液を設置する
- 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は参加しないように呼び掛ける(発熱者の入場制限等)
- 人と人が対面する場所は、アクリル板、透明ビニールカーテン等で遮蔽する
- 参加者が距離を置いて並べるように目印の設置等を行う
- 受付を行うスタッフには、マスク(フェイスシールド)を着用させる
- 受付場所での書面の記入や現金の授受等を避けるようにする
- 受付での混雑を極力避ける
- 参加者から以下の事項を記載した書面(参考様式1)の提出を求める
 - 氏名、年齢、住所、連絡先(電話番号) ※ 個人情報の取扱いに十分注意する
 - イベント当日の体温
- イベント前2週間前における以下の事項の有無
 - 平熱を超える発熱(おおむね37度5分以上)
 - 咳、喉の痛みなど風邪の症状、嗅覚や味覚の異常
 - 身体が重く感じる(だるさ、倦怠感)、息苦しさ(呼吸困難)、疲れやすい等
 - 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航又は当該在住者との濃厚接触の有無

イベント参加者への対応

- マスク等の準備
 - 参加者がマスクを準備しているか確認する
 - 受付時等のプレーを行っていない間、とくに会話をするときにはマスクの着用を求める
- イベント参加前後の注意点
 - イベント前後のミーティングや懇親会等においても、3つの密を避ける
 - 会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分に配慮する

主催者が準備すべき事項への対応

- 手洗い場所
 - 手洗い場所には石鹼(ポンプ型が望ましい)を用意する
 - 「手洗いは30秒以上」等の掲示をする
 - 手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒液を用意する
- 休憩・待機スペース
 - 広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避ける(障がい者の介助を行う場合を除く)
 - ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者の数を制限する等の措置を講じる
 - 室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所(ドアノブ、テーブル、椅子等)については、こまめに消毒する
 - 換気扇を常に回す、換気用の小窓を開ける等、換気に配慮する
- 洗面所
 - トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所(ドアノブ、水洗トイレのレバー等)については、こまめに消毒する
 - トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示する
 - 手洗い場には石鹼(ポンプ式が望ましい)を用意する
 - 「手洗いは30秒以上」等の掲示をする
 - 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル(使い捨て)を用意する
 - 共用の布タオルや手指を乾燥させる設備については使用しないようにする
- 飲食物の提供時
 - 参加者が飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うよう声を掛ける
 - 飲料については、ペットボトル・ビン・缶や使い捨ての紙コップで提供する
 - 果物等の食品については、取り分けを避けること
 - 飲食物を取り扱うスタッフにはマスクを着用させる
- プレーヤー以外の応援者などの管理
 - 応援者や付き添いなどがいる場合には、その者同士が密な状態にならないような対応をとる
 - 大声での応援を送らないことや会話を控える
 - 会話をする場合には、マスクを着用すること等の留意事項を周知する
- イベント会場
 - イベントを室内で実施する場合には、換気の悪い密閉空間とならないよう、十分な換気を行う
 - 換気設備を適切に運転する
 - 定期的に窓を開け外気を取り入れる等の換気を行う
 - 開閉会式は排除、または簡素化を図る
 - コート間はなるべく広く設置する(4m以上が理想)
 - 審判員数は、3つの密を避けるよう削減する
 - ゲート・ゴールポール、ボール等は、各試合終了後にアルコール消毒を行う
- ゴミの廃棄
 - 鼻水、唾液などが付いたゴミは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用する
 - マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹼と流水で手を洗い、手指消毒する
- その他、このガイドラインに従うだけでなく、実情に応じた感染防止対策に最大限の配慮をし、必要と考えられる万全の措置を講じる

感染防止策チェックリスト(参加者用)

参加者が遵守すべき事項

- 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる(当日に書面で確認を行う【参考様式1】)
 - 体調がよくない場合(例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- マスクを持参すること(受付時等のプレーを行っていない間、とくに会話をするときには、マスクを着用する)
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施する
- 他の参加者、主催者スタッフ等との距離(できるだけ2m以上)を確保する(障がい者の誘導や介助を行う場合を除く)
- イベント中に大きな声で会話、応援等をしない
- 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従う
- イベント終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告する
- イベント前後のミーティングや懇親会等においても、3つの密を避ける

参加者がプレーを行う際の留意点

- 十分な距離の確保とマスク等の準備
 - プレーをしていない間も含め、感染防止の観点から、周囲の人となるべく距離(できるだけ2m以上)を確保する(障がい者の誘導や介助を行う場合を除く)
 - 受付時等のプレーを行っていない間、とくに会話をするときには、マスクを着用する
 - プレー中のマスクの着用は、参加者等の判断によるものとするが、マスクをしない場合には、十分な距離を空けるよう、特に留意をする必要がある
- プレー中に、唾や痰をはかない
- タオルの共用はしないこと
- 飲食をする際の留意点
 - 飲食については、指定場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離をとって対面を避け、会話は控えめにする
 - 果物等の食品については、取り分けを避け、回し飲みもしない
 - 飲みきれなかったスポーツドリンク等を指定場所以外に捨てない
- その他、このガイドラインに従うだけでなく、実情に応じた感染防止対策に最大限の配慮をし、必要と考えられる万全の措置を講じる